

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	農山漁村景観保存小委員会	主 査 名：神吉紀世子 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：三橋伸夫
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的景観の保存・形成計画の先行事例を検証する。 ・ 文化的景観モデル事業等を取材調査できる委員構成を(公募を通じ)整備する。 ・ 検証の視点を委員会で議論し、各委員が取材調査・資料収集等を分担する 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 神吉紀世子(京都大学・主査) 小浦久子(大阪大学・幹事) 宮川智子(和歌山大学・幹事) 工藤和美(明石工業高等専門学校) 平田隆行(和歌山大学) 福島綾子(九州大学) 中尾史郎(京都府立大学) 熊野稔(徳山工業高等専門学校) 植田暁(NPO 法人景観ネットワーク) 川口友子(農村開発企画委員会)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2009 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/http://archi.sys.wakayama-u.ac.jp/~ruralscape/modules/d3blog/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 [うち 1 回は大会会場での非公式会合] (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 2008 年度大会にて開催した農村計画部門 PD を踏まえて、活動成果をまとめた図書の執筆・編集を進めた。今年度末頃に初稿が出来るよう作業にかかっており、2010 年度中に校了、学会内手続きに進める予定である。 2. 執筆・編集のためもあり、事例の補足研究を行った。 3. 今後の成果の公開・普及の方法について検討し、事例地(和歌山県田辺市内)にて、地域主体と協力した 2010 年度の研究会開催の準備作業に着手した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 図書出版について、特徴ある図書になるよう、委員による編集方針の議論を念入りに行ったため、予想よりも時間がかかっている。 2. HP の内容の充実と、活用方法の工夫。 3. 懸案の景観農振地域制度の研究会について、2009 年度内の開催に間に合わなかった。事例が少ないこと等も企画に苦勞している理由の 1 つであるが、委員が新たに関わる事例も生じたので新小委員会へ引き継ぎ企画立案は継続する。